

次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援に関するこれまでの審議経過

これまでの御意見

安全・安心(防犯など)

- ・いま子どもに対する事件が増加し、一刻も早く子どもの安全・安心を確保しなければならない。
- ・各地域でいろいろな取り組みが行われているが、それを系統立ててつなげていく必要がある。
- ・地域での子どもの見守りは、大人が子どもを見守るだけでなく、子どもが大人を見守る事例もある。
- ・ハサミ切りつけ事件から地域の人が子どもに目を向けてくれているが、今後途切れることがないようにすることが大切。
- ・不審者情報などは、正確な情報収集や、その情報の関係機関への提供が大切。
- ・地域の見守りはそれぞれの小学校の特色があるので、自然の流れの中で、不足があれば補うような形で進めたほうがよい。
- ・家庭、学校、地域の三者の連携を密にする必要がある。
- ・地域で活動する諸団体が一体となって学校内とまちの巡回などを行い、地域力の再生により児童にとって安全安心な環境づくりを行う。
- ・事件が起こりやすい場所を調べて改善していく。
- ・実際に子どもが不審者などに声を掛けられた場合どのように対応すべきか啓発が必要である。
- ・不審者などの情報を子どもに伝える場合、子どもが大人に不信感を持たないように気をつける。
- ・どのような人たちに活動してもらうかが重要。どうすれば実際に地域の人が活動できるか検討したい。
- ・土日における子どもの安全・安心を確保することがあまり取り組まれていない。
- ・わくわくプラザから子どもといっしょに帰ってくれる大人がいると親は安心である。

具体的な取り組み案

『継続的な見守り活動』

- 【区民】
 - ・日ごろの地域防犯体制を強化する。(見守り活動、声かけ運動など)
 - ・土日の安全・安心を確保する。(公園や繁華街の巡回パトロールなど)
- 【区民と行政の協働】
 - ・家庭、学校、地域の連携を強化する。(地域連絡会設置、連絡網整備など)
 - ・事件が起こりやすい場所を改善する。(点検の実施、地域安全マップ作成など)
 - ・実際に子どもが不審者に声を掛けられた場合の対応方法を指導する。(防犯教室や講習会の実施など)
- 【行政】
 - ・不審者情報を迅速に伝達する。
 - ・地域における見守り活動を支援する。

取組事例

- 安全・安心まちづくり推進協議会
 - ・青色回転灯装着車による年末年始地域巡回型パトロールを実施
- 地域教育会議
 - ・見守り看板の設置
 - ・地域連絡会設置
 - ・学校と地域の連絡網整備
- P T A
 - ・こども110番
- 町内会・自治会
 - ・パトロール
 - ・登下校時見守り活動
- 商店街
 - ・下校時放送
- 有志
 - ・渡田地区わんわんパトロール

出産・病気

・小児救急や産科医の減少は行政的な課題だが、区民会議の一つの意見として挙げておきたい。

・医療体制の充実を行政に要望していく。

経済的支援

・子どもは社会全体の宝であるから、産んでくれた方だけに経済的な負担をかけるべきではない。

・支援制度の充実を行政に要望していく。

その他

・若い夫婦が助言をしてくださる経験者の方と出会う場があれば、もっと安心して子どもを育てられるのではないかと。
・親のストレスが虐待につながっていくと思うので、親もほっとできる空間が地域の中でできていくとよい。
・京都の「となりのおばちゃん」のように、女性会や婦人会で若いお母さんの相談にのるシステムがあるとよい。

- 【区民】
 - ・川崎版「となりのおばちゃん」システムの構築する。
 - ・子育てサロンや地域子育て支援センターでの支援など、地域における子育て支援活動の充実を図る。

- 地区社会福祉協議会
 - ・子育てサロン
- 有志
 - ・地域子育て支援センターにおけるボランティア

区のイメージアップに関するこれまでの審議経過

これまでの御意見

身近な環境整備

- ・身近な環境整備については様々な団体が取り組んでいるが、一時的なもので終わらせない工夫が必要である。
- ・身近な環境整備が一番重要。まず私たち区民が何をしなければならないかを検討しないといけない。
- ・まちを花で飾るような参加しやすい場や材料の提供を検討すべき。
- ・身近な環境整備は放置自転車対策が一番重要である。自動車のように駐輪場の証明が無いと購入できない規制があってもよい。
- ・たばこのポイ捨ては今年から「路上喫煙防止条例」が施行されてかなり減った。
- ・ホームレス問題は多摩川の土手で増えているので対策が必要。
- ・身近な環境整備は突き詰めると人の問題。大事なのは大人の教育だと思うので、マナー啓発活動に取り組んだらよい。
- ・自転車メーカーや販売店も責任あるはず。新車への千円上乘せや登録制度も検討する必要がある。
- ・自転車を放置する人には、自分は便利でもまわりが不便になっていることを感じてもらいたい。
- ・自転車が悪いのではなく、乗る人のマナーの問題。自転車も整理されていけば気持ちがいい。
- ・自転車は軽車両ということを知らな過ぎるので、自転車教室などの機会によく知ってもらう必要がある。
- ・まずは銀行と遊技場の周辺には何も置かないようにし、それを広げていく。

アメフトW杯の成功

- ・アメフトW杯はまちの雰囲気をもくもくすることが重要。
- ・川崎駅東西自由通路でアメフトのプロモーションビデオを流す。(同意見あり)
- ・歓迎ムードの演出は大人が見本になり、あいさつ、笑顔といった迎える気持ちを醸成する。
- ・アメフトW杯に来る人に綺麗なまちを見せ、そこから普段のまちも綺麗にしたいという気持ちを醸成していく。

歴史を観光に活かす

- ・西口の新しい文化の創出はかえって好都合。歴史ある川崎をアピールするいいタイミングだと思う。
- ・東海道を利用した川崎のイメージづくりのため、資料館のような拠点が必要。
- ・みんなが少しずつエネルギーを出せそうなテーマなので、小さなものからでも実現させたい。

その他

- ・区民にどのようなことができるのかを具体的に検討すべき。
- ・網羅的に取り組むには時間が足りないなので、一つずつ検討してはどうか。
- ・アンケート回答者に高齢者が多いのは、子や孫の世代に引き継ぐために住民としてすべきことがあるという強い思いの表れ。
- ・区民会議では、実行できるものや具体的な形で成果が表れるものを議論し、できることから実行したい。
- ・外国人にもわかるような情報の提供が必要。母国語で表示があれば、訪れた外国人が川崎に住みたいと思うかもしれない。

具体的な取り組み案

『マナーアップとおもてなしの心』

- 【区民】
- ・地域におけるマナー啓発を強化し、区民一人一人の意識改革を促す。
(一声運動の実施など)
 - ・身近な清掃や整理整頓を実践・推奨する。
(美化活動、自転車整理など)
- 【区民と行政の協働】
- ・あらゆる機会をとらえたマナー啓発活動を行う。
(会議や催しでのキャンペーンなど)
 - ・自転車は軽車両であることを周知し、正しい乗り方を啓発・指導する。
(自転車教室実施など)
 - ・店や自宅前を花で飾る。
(花いっぱい運動の実施など)
- 【行政】
- ・駐輪場の整備などハード整備を行う。
 - ・地域における環境整備を支援する。

- 【区民】
- ・おもてなしの心を持って来訪者をお迎えする。
(あいさつ運動や笑顔運動の推進など)
 - ・美化運動を重点的に推進する。
(美化の日の設定など)

- 【区民と行政の協働】
- ・東海道川崎宿の拠点整備を目指し、実績を積み上げていく。
(歴史ガイドやシンポジウムの実施など)

- 【区民】
- ・次の世代のために、区民ができることから実行していく。(地域の歴史を案内板などで語り継ぐなど)
- 【行政】
- ・ホームページ、サイン、ガイドブックなど外国人向け情報発信の充実を図る。

取組事例

- 各種団体及び企業
- ・市内統一美化活動
 - ・多摩川美化活動

- 川崎駅東口放置自転車対策実行委員会
- ・自転車整理及び啓発活動

- NPO法人かわさき歴史ガイド協会
- ・観光案内所における案内

- フローラかわさき
- ・JR川崎駅前花壇の手入れ

- 各公園花壇愛護団体
- ・身近な公園や花壇の手入れ

- NPO法人かわさき歴史ガイド協会
- ・東海道川崎宿や川崎大師、産業文化財などの歴史ガイド

- 東海道川崎宿2023
- ・案内板やシャッター絵の設置、川崎宿にちなんだイベント実施

- カワサキハロウィンプロジェクト
- ・カワサキハロウィン

- 味の素、花王、JFEスチール
- ・見学者受け入れ

- 川崎商工会議所
- ・かわさき現代彫刻展